

(資料) 議会改革に係る課題の整理

議会改革推進特別委員会委員から、これから取り組むべき議会改革のための課題を提示していただき、以下により整理しました。早大マニフェスト研究所による議会改革度調査に倣い、3項目及びその他に分類しました。

(委員名、敬称略)

情報共有	① 政務活動費の詳細な公開 議会との懇談会では、議員報酬の引き上げは市民感情からも理解されるものとは思われない。議員が議員活動をより積極的に活動するためには、月額5千円では賄えるものではないが、全ての議員が使い切っておらず年額6万円の政務活動費の一部を返上している。公開することによる弊害が生じている現状にある。(由紀夫)
	② インターネットや広報などの媒体のフル活用 (萩野)
	③ 議会だよりも朗読・録音 議場の設備を使って、中高の放送部員などに読み上げてもらう。生徒・その親御さんの議会に対する関心が増すのでは。(美也)
	④ 多様な広報手段の活用について要検討 (浅沼)
住民参加	① 議会の傍聴と遠野テレビ放送の視聴率向上策 (佐々木)
	② 市民自薦による市民議会モニターの制度 ケーブルテレビなどで議会中継、録画放送がされているが視聴者は限られている。同様に議会だよりの読者も固定している。議会との懇談会も出席者が区長、退職職員の参加が多い。(由紀夫)
	③ パブリックコメントをいただく機会の創設 (萩野)
	④ 市民懇談会のあり方 「開催期日(曜日)」や「対象者」、「意見・要望事項に対する取扱い⇒当局へ要望書を上げるだけでなく一般質問などの場で議論を深める」(佐々木) 現在は地区センター単位に地域住民を対象としているが、開催場所や対象者の検討。(浅沼)
	⑤ 市民と議会・議員との関係の見直し (開かれた議会、市民の議会への参加等) (荒川)
機能強化	① 議場におけるタブレット端末の導入とペーパーレス化 (小林)
	② 通年議会の導入 (小林)
	③ ユニバーサルデザインの理念に配慮した議会運営 (小林)
	④ 会派代表質問の導入 (小林)
	⑤ 市長等に対する閉会中の文書による質問 (小林)
	⑥ 一般質問に対する当局答弁(市長)の持ち時間の制約 (佐々木)
	⑦ 一般質問の充実 いつから委員会審議になったと言われている。調査不足の質問、

		それに対する答弁。ヒヤリングしているにも係らずそういう事態となっている。(由紀夫)
		⑧ 議会運営・議会改革の評価と公表 (小林)
		⑨ 議事進行のあり方について (佐々木)
		⑩ 反問の解釈の確認 (浅沼) 反問権について (荒川)
		⑪ 条例の提案、議案の修正、決議等の改正提案を具体的に行う場合の手法の調査・研究 (浅沼)
		⑫ 政策提言・提案できる議会 (荒川)
		⑬ 議員間討議の解釈の確認 (浅沼) 議員間討議のルール作り (荒川)
		⑭ 委員会は積極的な政策立案及び政策提言を行っているか。(浅沼)
		⑮ 議会基本条例第 22 条の「議会運営委員会による検証」の検討 (浅沼)
		⑯ これまでの議会に関する例規、必携等の見直し (荒川)
その他	報酬等	① 議員定数及び報酬・常任委員長の報酬・政務活動費の見直しについて(小林、佐々木) 来賓あつかい、会合など特に産業建設常任委員長に対する案内が多く、会費の支出を伴う行事への出席もあり考慮する必要がある。(由紀夫)
		② 報酬増が魅力化につながるのか 第三者に諮問。時給換算し、市長のそれと比較。(美也)
	研修	③ 大学等の研究機関・専門的識見を有する方の積極的な活用 (小林)
		④ 他の自治体の議会との積極的な交流と連携 (小林)
		⑤ 議員の資質向上 (受動的姿勢から能動的姿勢) 議会側からの提案や市民の意見・要望に対する賛否に止まらず、議員自ら企画提案を行う。(佐々木)
	発言	⑥ 議員全員が一般質問を行う 最近、質問する人とならない人の二層化傾向にある。全員が最低でも年 1 回程度の質問を行うこととし、多様な議論を交わして議会の活性化を図るべし。(佐々木)
		⑦ 発言者に対するヤジや誹謗中傷の自制 (佐々木)
		⑧ 当局に対して、〇〇さん付けはしない (いまだに散見される) (佐々木)
		⑨ 「感謝するとか」、「ありがとうございます」の使用について 私としては、過剰に当局を持ち上げるのではなくその場の状況によって使用するのであれば可としても良いと考える。(佐々木)
		⑩ 会派のあり方について (荒川)